

経営比較分析表（令和2年度決算）

三重県 御浜町

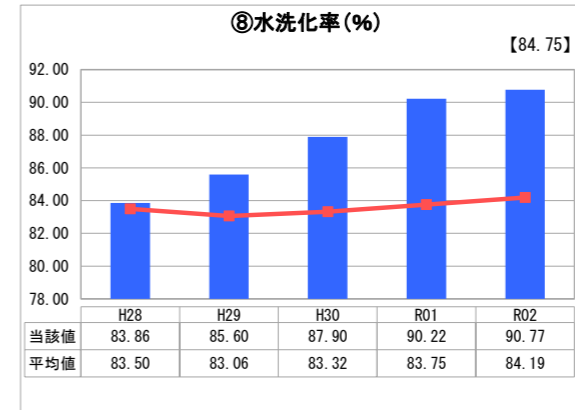
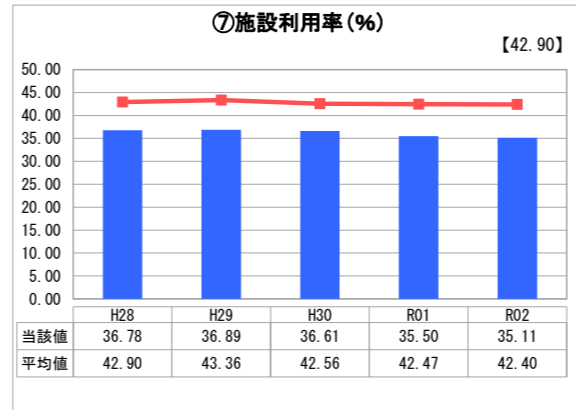
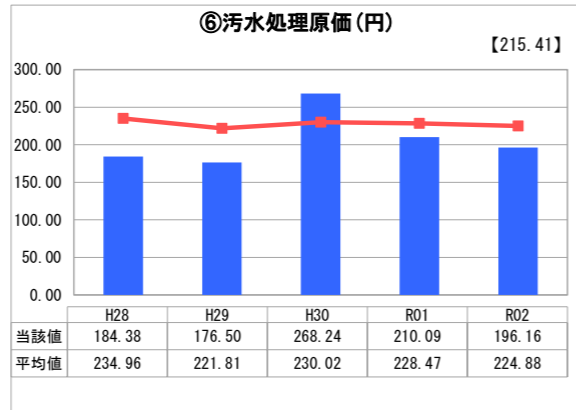
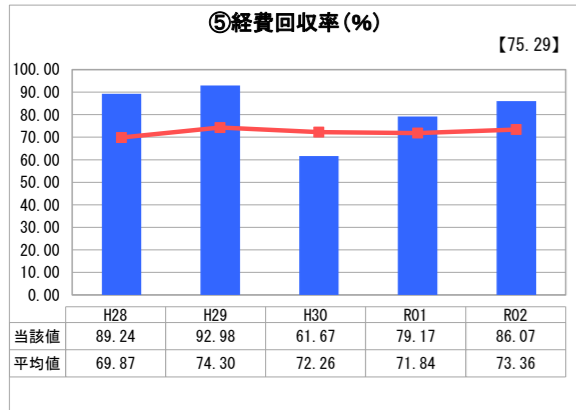
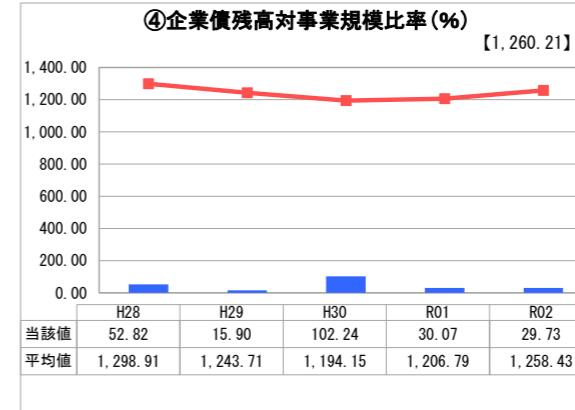
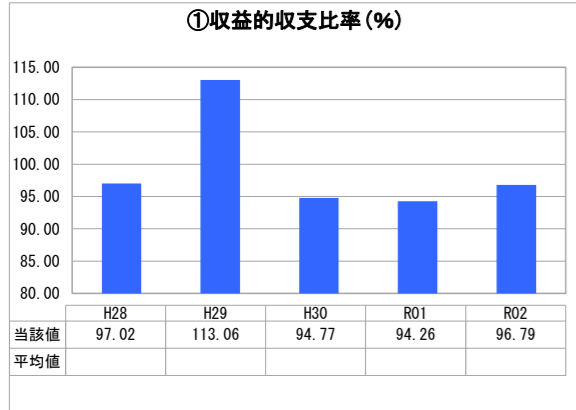
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	26.83	108.06	2,970

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,355	88.13	94.80
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,221	0.92	2,414.13

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

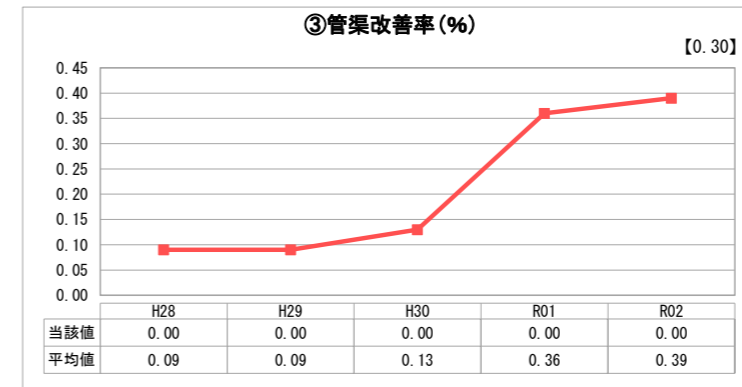
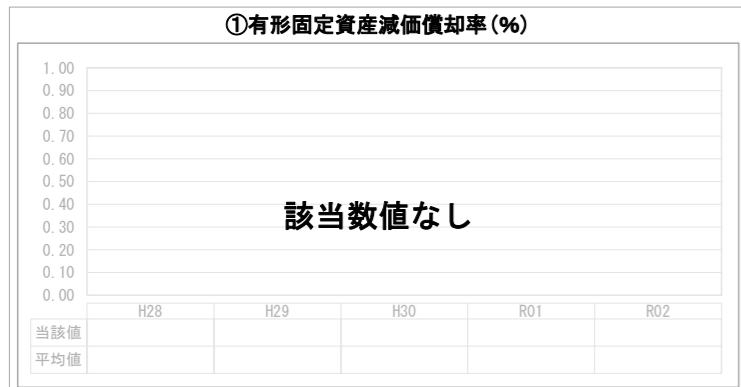
1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率、経費回収率ともに、100%以下が続いている。原因として、収益は上がらないが、施設の更新費用、維持管理費が増加しているためである。また施設利用率も平均値以下が続いている。原因として、人口減少、節水型設備の普及等により、流入汚水量が計画値より減少しているためである。

2. 老朽化の状況について

平成12年の供用開始から21年を経過しているが、管渠施設の耐用年数には達していないため、当面管渠の改善は必要なしと判断する。しかし、処理場及びマンホールポンプ場の電気、機械設備については、耐用年数に達しているものもあり、ストックマネジメント計画を策定し、計画的に施設の更新工事を実施している。

2. 老朽化の状況



全体総括

近年、人口減少、節水型設備の普及等により流入汚水量が減少し、使用料収入は停滞している。また処理場及びマンホールポンプ場の電気、機械設備については、耐用年数に達しているものもあり、施設の更新を行うための費用が必要である。以上より、今後より一層の経費削減、料金改正の検討が必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。